

糸満市市民活動支援センター 2012 年度 事業報告書



▲平成 25 年 1 月 21 日～25 日 市民活動パネル展

運営

特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく

2013 年 3 月

はじめに

2012年（平成24年）、東日本大震災から1年が経過しました。東北の被災地において、昨年を引き続き多くの市民やNPOが生活再建・復興に尽力しています。

2012年4月1日には、改正NPO法が施行され、新寄付税制とともに、より市民の活動がしやすい環境が整ったといえます。また、全国各地で、寄付による新しい資金の流れを生み出す市民ファンドの設立が相次いでいます。

こうした社会情勢の中、糸満市において2011年10月29日、糸満南小学校跡地にオープンした「糸満市市民活動支援センター」も糸満市中央市場に拠点を移し、2年目を迎えました。

2年目の今年は、市内の市民活動を資金面でサポートする「市民提案型まちづくり事業」の事務局を受け持ちました。申請倍率も3倍に伸び、外部の審査委員の導入、交付団体に向けた会計講座の実施、広報紙による補助事業の進捗情報発信、市民活動パネル展での中間報告会の実施など、「市民提案型まちづくり事業」をセンター事業の軸に位置づけ運営を行いました。

また、多様な主体がつながり、議論するテーマ型座談会を地域の声から実施するなど、徐々にセンターの存在や役割についても認知が広がりつつあります。センターを知ってもらう1年目から、様々な活動が糸満市内にあることを発信していくことで見える化させていくことに取り組めた2年目となりました。

地域に目を向け、地域の課題解決にチャレンジしていく人が増え、行政や企業など多様な主体とつながりながら成果を生み出していける環境づくりを目指していきます。

糸満市市民活動支援センター
(管理運営/NPO法人まちなか研究所わくわく)
センター長 宮道 喜一

目次

はじめに

目次

第1章	ハイライト.....	1
1-1	2012年度 市民活動をとりまく環境をふりかえる	
1-2	2012年度 糸満市をとりまく市民活動環境をふりかえる	
1-3	糸満市市民活動支援センターに関する主な出来事	
1-4	糸満市市民活動支援センター 事業トピックス	
	(1) 市民提案型まちづくり事業の企画推進	
	(2) 市民活動講座の開催	
	(3) 市民活動パネル展の開催	
	(4) テーマ型座談会の開催	
	(5) 市民活動相談会の開催	
	(6) 市民活動の見える化・情報発信	
	(6)-1 広報紙「日々是好日」の発行	
	(6)-2 ブログで情報発信	
	(6)-3 市民活動便利帳「iいとまんページ」の作成	
1-5	利用実態	
	糸満市市民活動支援センター利用統計	
1-6	県外研修（福岡市・岩国市）	
1-7	フォトギャラリー2012	
第2章	収支概要.....	23
第3章	運営について.....	25
3-1	糸満市市民活動支援センター 事業推進体制	
3-2	市合同月例ミーティング&スタッフミーティング	
	糸満市市民活動支援センター事業スケジュール	
添付資料		
	事業評価シート、メディア掲載記事、チラシ、広報紙	

第1章 ハイライト

1-1. 2012年度 市民活動をとりまく環境をふりかえる

(1) NPO法改正と認定NPO法人制度の改正

東日本大震災後、数多くのNPOが被災地の内外で様々な支援活動を展開しているが、災害時に限らず、保健・医療・福祉や子どもの健全育成、まちづくり、環境や国際協力など、多様なニーズに対応し、社会貢献活動を行うNPOの役割はますます重要になっている。こうしたNPOの社会貢献活動をさらに広げていくために、2011（平成23）年6月に「特定非営利活動促進法（NPO法）」が大幅に改正され、2012（平成24）年4月1日に施行された。

今回の改正では、活動分野に「観光振興」、「農村漁村・中山間地域の振興」の追加ならびに所轄庁が条例で分野を追加できる点や内閣府認証事務を都道府県へ移管、認定機関が国税庁から都道府県へ移管などがきまったが、なかでも認定NPO法人とほぼ同じ税の優遇が受けれる制度である「仮認定制度」が導入されたことは、この改正の中でも大きなポイントである。

また、認定NPO法人制度についても、認定要件のひとつであるパブリックサポートテストに「年3,000円以上の寄付者が年平均100人以上」、「都道府県又は市町村の条例指定」の新しい基準が追加され、認定NPO法人になるための要件が緩和されるとともに、認定NPO法人等への寄付金税額控除が導入されるなどより多くのNPO法人が寄附金税制優遇措置の対象になる可能性が広がった。

沖縄においても2013（平成25）年4月1日現在、2法人が仮認定を受けている。

(2) NPO法改正に伴い会計基準も導入

これまでNPO法人には会計基準がなく、団体によって会計処理がばらばらで比較することができず、市民に理解されにくいという状況があった。今回のNPO法改正に伴い、NPO法人の信頼性向上のため、NPO法人会計基準（※）の導入が行われ、会計の明確化も行われた。具体的には、従来の「収支計算書」は「活動計算書」という名称に変更され、事業年度におけるそのNPO法人の活動状況を表す計算書に変更された。

（※）2009（平成21）年3月、全国のNPO支援団体による「NPO法人会計基準協議会」が設立され、79のNPO支援組織が参加し、2010（平成22）年7月にNPO法人会計基準として策定された。

（参考）みんなで使おうNPO法人会計基準 <http://www.NPOkaikeiki.jun.jp/>

(3) 東日本大震災への復興支援つづく

2011（平成23）年3月11日に発生した東日本大震災後、被災地では全国から多くのNPOが駆けつけ、被災地支援の活動が行われた。2012（平成24）年度も復興・被災者の生活再建に向けた取り組みが行われているが、地震発生2年を経て、全国各地からのNPOの多くは現地を去りつつあり、今後は現地NPOの役割がますます大きくなってきている。

一方、各地で被災者・避難者支援が行われており、沖縄県内においても震災支援の募金箱の設置やチャリティーイベントなども多く開催されている。

1-2. 2012年度 糸満市をとりまく市民活動環境をふりかえる

(1) 糸満市内のNPO法人・市民活動団体の概況

把握できる団体として、糸満市に主たる事務所を置くNPO法人と糸満市社会福祉協議会に登録しているボランティア団体、自治会がある。他にも任意団体や一般社団法人等の公益法人もあるが、特に任意団体の正確な数字を把握することは難しい。

- ・ NPO法人数（2013（平成25）年4月現在）
糸満市内 13 法人（沖縄県内 585 法人）
- ・ 糸満市社会福祉協議会に登録されているボランティア団体（2012年度）
登録団体数 23 団体
- ・ 自治会 73 自治会

(2) 市民活動を支える資金プログラム

糸満市内において、分野を問わず市民の活動を資金面でサポートを行うプログラムは以下の2つがある。

- ・ 糸満市市民提案型まちづくり事業補助金
設置・運営 糸満市企画開発部政策推進課／糸満市市民活動支援センター
30万円コース 1 団体、10万円コース 3 団体（2012（平成24）年度）
- ・ 赤い羽根共同募金
設置・運営 沖共募糸満市共同募金委員会

1-3. 糸満市市民活動支援センターに関する出来事

(平成24年4月10日から平成25年3月31日まで)

期日	事業	主催・所管課	内容
4月10日	契約	政策推進課 センター	糸満市市民活動支援センター設置・運営事業
4月25日～	改装・移転作業始まる	〃	モルタル・しっくい・ペンキ塗り作業など
5月7日	自治連絡員会議参加 広報紙発行開始	市民生活課	平成24年度センター事業の説明とご挨拶 広報紙「日々是好日」4回発行
5月10日	移転オープン	センター	南小跡地より移転、旧センターで栽培したじゃがいもを調理して 市場の皆さんへふるまう
5月22日	ちむちむ市場開催につき臨時開館	〃	市場や周辺での行事の際はセンターを臨時開館 ちむちむ市場6回・ハーレー・大綱引き
5月29日	市合同月例ミーティング始まる	政策推進課 センター	全11回開催
5月31日	公設市場周辺商店通り会総会出席	公設市場周辺 商店通り会	上原が司会と板書役を務める
5月31～6月1日	内閣府主催、福岡市開催の説明会に出席	宮道	「特定非営利活動促進法に係る諸手続きに関する説明会」において学ぶ
6月5日	おきなわ市民活動支援会議出席	宮道・上原	沖縄県内の中間支援組織で構成する当会議で月1開催 当月は勉強会及び意見交換会
6月6日	市民提案型まちづくり事業補助金受付開始	センター	自治連絡員会議での説明を皮切りに受付開始
6月28日	公設市場整備へ向けての事前協議に出席	商工観光課	NPO支援の立場で要請を受け宮道・上原が出席
7月18日	つながりづくり推進協議会総会	つながりづくり 推進協議会	平成23年度沖縄県新しい公共事業(多様なパートナーシップ等 ネットワークづくりモデル事業)の際、立上げた組織
7月26日	市民提案型まちづくり事業補助金審査会	政策推進課 センター	7月18日審査委員会では審査基準等について事前打合せ、当日は12団体のプレゼンテーションによる審査を行う
8月15日	まちづくり事業交付説明会及び市民活動講座(会計)開催	〃	交付団体対象の説明会後に大城税理士事務所より講師を迎え 会計講座を開催
9月5日	まちづくり事業交付団体と市長との懇談会	市長	上原裕常市長より激励の言葉を頂く
11月2・3日	糸満まちぐわー願寿祭	まちぐわー活性化 実行委員会	7月31日まちぐわー活性化実行委員会発足、上原がオブザーブ として参加
11月28日	第1回テーマ型座談会開催	センター	テーマは「市民力・地域力が育つ環境を目指して」、市民活動便利 帳「i いとまんページ」を作成することを決める
1月7日	地域おこし協力隊着任	政策推進課	北村氏、神奈川県より移住、センター業務強化のため配置
1月11日	特定非営利活動法人の設立・会計税務講座参加	県民生活課	県担当者・行政書士・税理士による講座、センターは共催として 参加
1月21～25日	市民活動パネル展	センター	1月8日は出展団体説明会、初日21日はオープニング・まちづくり 事業中間報告会、最終25日は交流会を行う
2月2～4日	県外視察研修	上原	福岡市NPOボランティア交流センター、ふくおかNPOセンター、い わくに市民活動支援センター・市民活動カフェを視察
3月11日	第2回テーマ型座談会開催	センター 西崎ニュータウン	西崎ニュータウン自治会自主防災会主催パネル展会期中に開 催
3月14日	ボランティアセンター合同ミーティング	センター 系社協ボラセン	次年度は共催で市民活動発表のイベントを行う

1-4. 市民活動支援センター 事業トピックス

(1)糸満市市民提案型まちづくり事業の企画推進

【ねらい】

市民団体及びグループ等が、自主的、主体的に企画実施するまちづくり事業に対し、予算の範囲内で事業の経費の一部を補助することによって、持続的な取り組みを実現していくことを目的とする。

○概要

今年度、4年目となる本事業の事務局として、所管課とともに交付要綱・募集要項の見直しをはじめ、募集・審査・取材広報・報告と一連の業務を行った。

①募集期間

平成24年6月5日(火)～7月6日(金)

②審査

審査員による事業計画書等の応募書類とプレゼンテーションによる審査を行った。

日時：平成24年7月26日(木) 10:00～16:00

会場：市役所4-a会議室

申請：30万円コース 5団体(交付1団体) 申請倍率5.0倍

10万円コース 7団体(交付3団体) 申請場率2.3倍

委員：5名

兼島景孝(糸満市役所企画開発部部長) 審査委員長

神谷和男(糸満市役所企画開発部政策推進課課長)

玉城幸輝(糸満市役所市民健康部市民生活課課長)

玉城 満(糸満市社会福祉協議会事務局長)

岩田直子(沖縄国際大学人間福祉学科教授)

③交付団体と事業名

30万円コース：子育て応援隊NPO いっぱ

「子育て見守り隊活動」

10万円コース：要約筆記サークルいちまんかたつむりの会

「緊急時(災害含む)の連絡方法を学ぶ」

ゆんたくCafé しーさいど

「地域コミュニティーサロン」

ジュニアびーす倶楽部∞(夢限大)

「地元いとまんをガイドしよう！(ジュニアガイド養成講座)」

④交付説明会（会計講座同時開催）

日時：平成24年8月15日(水)18:00～18:30

会場：市役所3-c会議室

内容：補助の対象となる経費・対象とならない経費

領収書の取り扱い

その他留意事項

※会計講座については次頁

⑤広報紙「日々是好日」で交付決定事業の紹介

Vol.5 交付団体と事業内容、審査総評・審査項目の掲載

Vol.6 市長との懇談会の様子と激励の言葉、各事業の活動レポートの掲載

Vol.7 各事業の活動報告、決算報告の掲載

⑥市民活動パネル展で中間報告会

日時：平成25年1月21日(月)10:00～11:00

会場：市役所1階市民ホール

内容：事業を提案した理由、経過、現時点での成果、今後の展開



交付説明会



中間報告会

～ 交付団体の声 ～

- 交付を受けたことで今後の活動の基礎となり大変満足しています
- 広報紙は、多くの市民へ紹介される機会となって有難かった
- パネル展は他の事業や活動を知る交流情報交換の場となった
- 年度初めの事業計画に組み込みたいので交付決定の時期を早めて欲しい
- 申請書や報告書は記入必須事項をより詳しくまたは見本して欲しい
- 活動にどうしても必要な備品があるので、購入額を制限せず団体に任せて欲しい

(2)市民活動講座(会計)の開催

【ねらい】

日常の基礎的な会計処理の方法を身に付け、団体の活動がわかる決算書作成の方法や
 税務処理が出来るよう会計税務の基礎がわかる。

○概 要

糸満市の市民活動団体の多くはボランティアを中心とした団体であり、団体の管理運営
 まで時間や労力を割くことが困難な状況である。また、今回で4年目になる市民提案型ま
 ちづくり事業においても、過去3年、報告の際には決算書をまとめることができず、受理
 するまでに何度もやりとりを行う団体も多かった。そこで、決算書作成まで見据えて日々
 やるべき基礎的かつシンプルな会計処理を身に付けるための会計講座を開催した。市民提
 案型まちづくり事業交付団体には、本講座への参加を義務付けた。

日 時：市役所 3-c 会議室

会 場：平成 24 年 8 月 15 日(水) 19:00~21:00

テーマ：毎日の会計これだけは！～決算書づくりを見すえて～

講 師：大城逸子氏（大城税理士事務所）

参 加：計 35 名（市民提案型まちづくり事業採択団体、NPO 法人、任意団体、他法人、
 県職員、市職員、税理士事務所、専門学校学生、専門学校講師、個人）



～ 受講者の声 ～

- 会計処理や仕組みの基本がわかりました
- 助成金の会計業務がこれから始まりますが、やりやすくできる気がしてきました！
- 日々、自分の行っている処理が正しかった点、改善すべき点がよくわかりました
- 内容が素晴らしく先生の説明もわかりやすかったのですが、もう少しゆっくり聞きたかったです

(3)市民活動パネル展の開催

【ねらい】

各団体の活動を取り上げることで、地域で実践されている協働と市民活動に対する理解と関心を深めるとともに、市民活動団体同士の交流や情報交換を促し、地域のつながりづくりに寄与することを目的に実施する。

○概要

昨年度に引き続き、市役所1階ロビーという多くの市民の目に触れる場所でパネル展示と物品販売を中心に、今年度はオープニングに併せて市民提案型まちづくり事業補助金交付団体による事業報告会を開催した。また昨年度の出展団体対象アンケートに応え、最終日に交流会を開催し異分野がつながる場を設定した。

テーマ：「未来へつなげる」

日時：1月21日(月)～25日(金)8:30～17:00 (初日は10時から最終日は12時まで)
 オープニング及び市民提案型まちづくり事業補助金交付団体による事業報告会
 1月21日(月)10:00～11:00

場所：市役所1階市民ホール

主催：糸満市（市民活動支援センター）

後援：糸満市教育委員会、糸満市社会福祉協議会、糸満市消防本部、糸満警察署、
 糸満市商工会

来場者：約700名（延べ）

物販：総売り上げ点数650点
 ：総売り上げ価格152,910円

出展団体：23団体



出展団体一覧（23 団体（順不同））

NPO 法人ワークサポートひかり※、糸満市公設市場周辺商店通り会、西川町向上会、糸満市観光市民ガイド友の会、糸満市女性連合会※、ヘルスメイトひまわりの会、要約筆記サークルいちまんかたつむりの会、リーディングサービスラッキーマウス、糸満地区安全なまちづくり推進協議会、西崎小学校合唱部父母会、糸満市ボランティアセンター、オーガニックいとまん chu※、南部病院、ジュニアびーす倶楽部の夢限大、子育て応援隊 NPO いっぽ、手話サークル虹の会、真栄里チャレンジ会、ゆんたく cafe しーさいど、糸満市自主防災連絡協議会、学校支援ネットワーク、ハマスーキ、糸満市消防団、米須村丸ごと生活博物館おもてなし班※

注 1) NPO 法人＝特定非営利活動法人の略、注 2) ※印は物品販売もあり



説明会



交流会

～ 出展団体の声 ～

- ・ 3月か4月の開催はどうか。団体の活動の募集周知につながると思う
- ・ より多くの方に展示を知ってもらう為の告知期間が必要
- ・ 他の団体との情報交換や交流がもててよかった
- ・ 昨年度に比べ展示を行う活動グループが増え、またその展示内容にも力が入っていると感じ、とても良いと思った
- ・ 市民活動ってどんなものだろうと思ったが、各地・各団体の活動が少し見えたような気がした
- ・ 物品販売では他団体の協力もあってたくさん売れた
- ・ DVDが流せるといい。声で伝えることも必要かも
- ・ 他団体の活動も参考にしたい。励みになる
- ・ 市民に団体の存在や活動を伝え、知ってもらう事の嬉しさと人や活動のつながりの可能性が見えるように思う。

(4)テーマ型座談会の開催

○概要

当事業はセンターに寄せられた「異分野と交流したい」「行政と接点を持ちたい」という市民活動団体の皆さんの声をもとに、11月と3月、それぞれテーマを決めて着席者を選定し開催した。

①テーマ：市民力・地域力が育つ環境を目指して

【ねらい】

市民活動団体と関わりのある各機関の担当者が集い、市内で活動する市民活動団体を把握し共有するための方法を考え、また情報交換を行うことで地域課題を探る。

日時：平成24年11月28日(水)10:00～12:00

会場：市役所3-a会議室

着席：市民生活課

教育委員会生涯学習課・学校支援本部コーディネーター、
糸満警察署生活安全課、社会福祉協議会ボランティアセンター
政策推進課・市民活動支援センター（欠席：消防本部総務課・商工会）

内容：糸満市の市民活動や地域課題の把握
市民活動情報の共有化について考える



成果1) 市民活動便利帳「i いとまんページ」を作成

市民活動をより開かれたものにするために各団体の情報や活動場所の情報等を掲載した市民活動便利帳「i いとまんページ」を作成し、関係機関の窓口に置くことで市民からの問い合わせに対応出来るよう環境を整えていくことを決めた。

成果2) 「学校支援ネットワーク」が誕生

これまで個々に活動されていた学校支援地域本部地域コーディネーターの皆さんと高嶺小学校コミュニティスクール担当者がつながり、「学校支援ネットワーク」という名称で民活動パネル展に出展、学校支援地域本部やコミュニティスクールの組織と活動の紹介、さらに学校支援ボランティア募集の呼びかけを行った。

②テーマ：地域の防災を考える

【ねらい】

東日本大震災より2年、市内のいろんな団体と防災について情報を共有し、組織として備えるべきもの・やるべきことについて考える機会とする。

日時：平成25年3月11日(月)14:00～16:00

会場：西崎ニュータウン自治会集会所（防災会主催パネル展会期中）

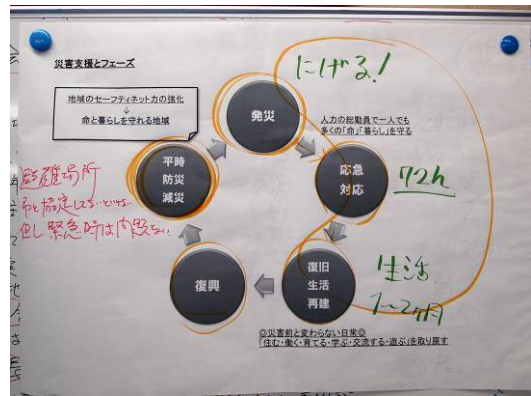
着席：西崎ニュータウン自治会自主防災会、NPO法人沖縄NGOセンター、
NPO法人えるだす、糸満市観光市民ガイド友の会、
社会医療法人友愛会南部病院

コーディネーター：市民活動支援センター

ワガザブ：要約筆記サークルいちまんかたつむりの会、市民生活課防災担当

内容：発災から避難までの課題出し

避難生活での課題出しと組織として備えるべきことを考える



成果1) 地縁型の市民活動団体とテーマ型の市民活動団体がつながる

防災は地域性別年齢を問わず誰もが等しく抱く課題である。西崎ニュータウン自治会自主防災会主催の「自主防災会活動パネル展・防災備蓄資機材展示」会場で行うことで、自治会など地縁型の市民活動団体とテーマ型の市民活動団体との接点が生まれた。

成果2) より細かいニーズに応える訓練へ

自主防災会の皆さんから「次年度は避難所開設訓練では地域・外国人を巻き込んだ訓練にしたい」という声も上がり、防災をテーマにした次回の座談会は個々の課題について資源・アイデアを持ち寄る場を設けるなど、今後の取り組みの方向性が見えた。

(5)市民活動相談会の開催

【ねらい】

市民活動団体や市民活動に興味を持つ個人が、活動をする上での困りごとや疑問を気軽に相談解決出来るような環境をつくる。

○概要

毎月第1木曜日（13時・14時・15時）を相談人設定し、相談を受け付けた。その他の日程でも事前予約の上、実施した。

対応数：のべ155件

内容：市民提案型まちづくり事業補助金45件、その他28件、NPO運営20件、イベント運営13件、会議の運営12件、NPO法人設立10件、広報6件、助成金情報6件、会計税務6件、団体間い合わせ5件、NPO設立3件、ボランティア相談1件

各法人比較表1

	NPO法人	一般社団法人
書類作成	3~4週間	書類作成に1~2週間
所轄庁の審査	約4ヶ月	登記手続に約1週間
登記手続	約1週間	合計2~3週間
合計	約5ヶ月	
人数	高い	低い
人数	10人以上	2人以上
可	不可	可
一人一票	一人一票	定款で定めれば変更可
理事3名以上		

事例1) 市民提案型まちづくり事業補助金関連

i いとまんページQ&Aより

市民提案型まちづくり事業補助金に関して、申請書類の整え方、プレゼンテーションの方法、採択団体の概算請求、報告書作成など、各団体より多数の継続的な相談が持ち込まれ対応した。この相談をきっかけに各団体との信頼関係を構築できた。

事例2) NPO 法改正に伴う登記変更の案内

4月からのNPO法改正に伴う登記変更について、市内NPO法人に案内をするとともにスタッフの勉強会を行い相談対応体制を整えた。今後も予測される相談に対応出来るよう事前に体制を整えていく必要がある。

事例3) 法人設立

NPO法人への移行手続きを行っている任意団体やこれから法人設立を考えている個人からの相談に対応した。電話やメールで団体が準備している書類のチェックを行い、県への申請を行うことができたケースもあった。また、NPO法人と他法人の比較表を作成し説明を行うなど、NPO法人だけではなく法人の選択肢も示しながら対応を行った。

(6)市民活動の見える化・情報発信

【ねらい】

糸満市内で活動する団体や市民活動に関する情報をわかりやすい形で提供し、いつでも市民が活動へ参加したり、地域の課題解決に取り組めるように市民活動の見える化に努める。

(6)-1 広報紙「日々是好日」の発行

○概要

3ヶ月に一度、糸満市内の市民活動状況をはじめ、特に平成24年度糸満市市民提案型まちづくり事業補助金交付団体の事業を紹介した。

- 発行：Vol.4（5月発行）
- Vol.5（8月発行）
- Vol.6（11月発行）
- Vol.7（3月発行）

部数：各号約600部



□Vol.4 センター移転のお知らせ	
1ページ	5月10日糸満市中央市場に移転オープン
2ページ	平成24年度センターキーワード、センター事業の紹介

□Vol.5 平成24年度の補助金交付4団体が決定	
1ページ	審査総評・審査項目など審査会の様子
2・3ページ	市民提案型まちづくり事業交付団体と事業内容の紹介
4ページ	団体紹介：米須自治会 2012年度スケジュールや市民活動ファイルの活用について案内

□Vol.6 市民発、行政発の協働事業の紹介	
1ページ	市長との懇談会の様子、激励の言葉
2・3ページ	市民提案型まちづくり事業交付団体、各事業の活動レポート
4ページ	団体紹介：オーガニックいとまん chu 2012年度スケジュールや市民活動ファイルの活用について案内

□Vol.7 2012年度センター事業を振り返る

1 ページ	人と組織と資源をつないだセンター事業の紹介
2・3 ページ	市民提案型まちづくり事業交付団体、各事業の活動・決算報告
4・5 ページ	テーマ型座談会実施レポート 未来へつなげる市民活動パネル展出展団体の紹介
6・7 ページ	未来へつなげる市民活動パネル展出展団体の紹介
8 ページ	2012年度センター事業報告、利用統計

(6)-2 ブログで情報発信

○概要

糸満市内で活動する団体の多くは独自で情報発信するツールを持たず、またその活動を紹介する媒体も少なく情報が得にくい。また市民活動に取り組む際、地域に特化した情報が整理されておらず、必要な情報を入手するのが困難である。記事を掲載する際はブログの検索機能を活用し、情報を引き出しやすいよう工夫した。



URL : itomansaposen.ti-da.net

更新日 : 毎開館日

記事数 : 年間 289 件

閲覧数 : 日平均約 50 件 (多い時で 70~80 件)

インフォメーション : ご利用案内、2012 事業、2012 スケジュール、関係機関リンク、市内団体リンク

記事カテゴリ : センター概要、市民活動相談会、市民提案まちづくり事業、市民活動講座、市民活動パネル展、テーマ型座談会、広報紙「日々是好日」、つながりづくり推進協議会、2011 センター事業、市民活動 20 の分野、市民活動イベント情報、市民活動スペース情報、補助金・助成金情報、視察・研修、糸満市中央市場、その他

(6)-3 市民活動便利帳「いとまんページ」の作成

【ねらい】

市内の市民活動に関する基本的な情報を取りまとめて便利帳を作成し関係機関が活用することによって、市民の問い合わせに対しどの窓口でもその場で等しく情報が得られる環境を目指す。

○概 要

第1回テーマ型座談会において、市内の市民活動支援機関でさえ、それぞれが把握している情報を共有出来ていないことが明確になった。便利帳の作成と活用を通し市内関係機関とのネットワークを築き、ともに糸満市内の市民活動の「見える化」に取り組む。情報収集を通して団体の活動内容が見え、当センターのことを知ってもらう機会となっている。

①追加可能な形式でファイリング！

②当センターはじめ、市民からの問合せ窓口機関に設置！

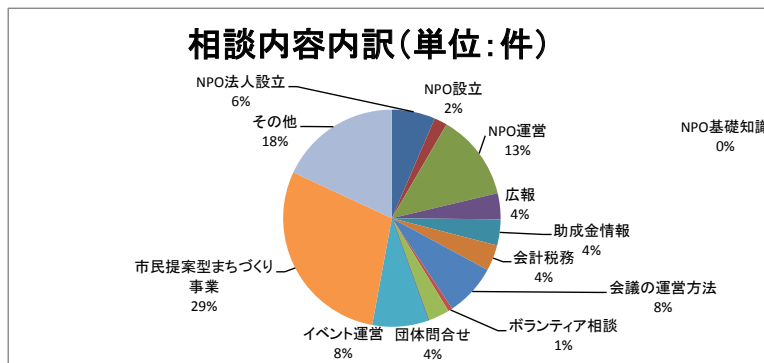
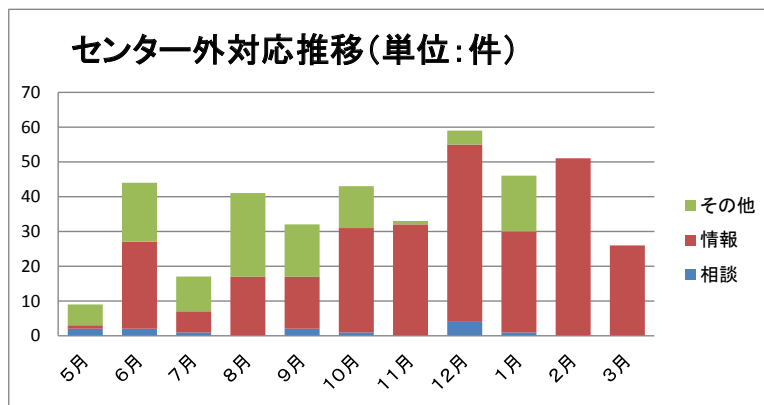
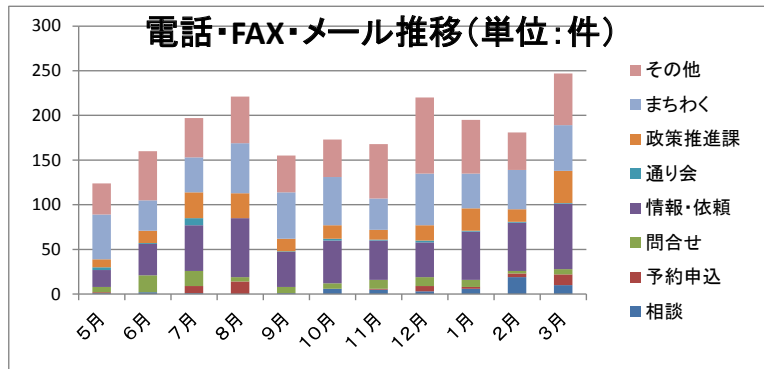
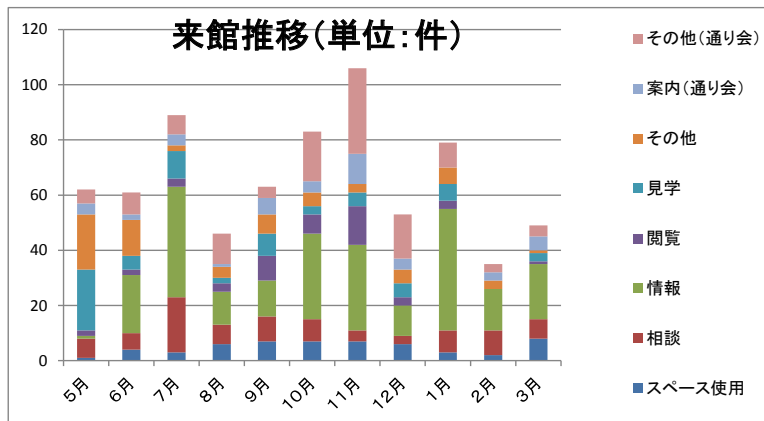
③市民活動団体情報や市民活動に関する年間スケジュール、スペース情報、市民活動をサポートする窓口、さらに市民活動 Q&A も掲載し市民からの問い合わせに対応！

○進捗状況（平成 25 年 3 月時点）

- ・年間スケジュールなどの基礎情報に関しては作成済み、各機関へ掲載内容確認中。
- ・当センターに寄せられた相談や他支援機関発行のよくある Q&A 情報を取りまとめ中。
- ・5 月末の配布に向けて、自治会をはじめ市内約 130 団体の情報掲載を目標に団体情報入力シートの回収、団体へ掲載内容確認中。



1-5. 利用実態



○考 察

市民提案型まちづくり事業補助金の事務局となったこともあり、来館・電話・メールともに利用者数が増加した。8月には市民提案型まちづくり事業補助金交付説明会と併せて会計講座を開催、交付団体をはじめ市内外より36名が受講した。また、広報紙をはじめ情報収集のために地域に赴くことが多く、単に情報を得るだけでなく信頼関係を築く機会にもなり、その後の相談業務につながっていった。

糸満市中央市場への移転に伴い、糸満ハーレーや糸満大綱引きなどの地域の伝統行事やちむちむ市場や願寿祭など中央市場で開催される行事の際にはセンターを臨時開館し、普段センターに足を運ぶことがない市民へセンターを見学して頂く機会を設けた。また、ボランティアとしてセンター業務（新聞記事スクラップなど）をサポートしてくれる地域の人も出てきた。

昨年度より引き続き開催している市民活動パネル展の来場者数も今年度は約700名と増加し、パネル展を目的に来庁した市民も少なくなく市民の中に定着しつつある。また、今年度より新たにテーマ型座談会を企画、各テーマに沿って着席者を選定し実施した。内容によっては、着席者以外にオブザーブとして関心のある市民に参加を呼びかけることも可能であり、今後の方向性を探るのに有意義な取り組みとなった。広報紙やセンターブログの閲覧者から記事に掲載した事業や団体に関する相談や問い合わせもあり、各機関や市民活動団体へつなぐ役割を果たせるようになった。中には県外のメディアなどからの問い合わせもあり、ネット検索によって当センターブログにたどり着いていることが伺える。また、行政や他機関からの紹介で当センターを利用する数も増えている。



1-6. 県外研修

①「特定非営利活動促進法に係る諸手続きに関する説明会」への参加

【ねらい】

改正特定非営利活動促進法について、新たに設立する場合の留意点や認定 NPO 法人の認定要件、既存 NPO 法人として対応すべき点についての情報を得ること。

期 間：平成 24 年 5 月 31 日（木）

会 場：福岡市立婦人会館（福岡県）

内 容：平成 24 年 4 月 1 日から施行された改正特定非営利活動促進法についての諸手続きについて、内閣府担当者より主に以下の点について説明が行われた。

- ・法人設立に関すること
- ・認定 NPO 法人の認定要件と手続きについて

参加者：宮道喜一

理事の代表権の喪失登記など、改正 NPO 法に対応するための手続きについて、市内 13NPO 法人に対して情報提供を行うことができた。

②県外視察研修（岩国市・福岡市）

【ねらい】

現在の糸満市の市民活動環境に近い岩国市の「市民活動カフェ」を視察し、その取り組みについて情報を得て今後の手がかりとする。併せて、日常のセンター運営について視察し次年度の事業計画に活かす。

期 間：平成 25 年 2 月 2 日(土)～4 日(月)

視察先：いわくに市民活動支援センター

- ・「市民活動カフェ 2013」の取り組み
- ・センター管理運営（官設官営）

福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」（官設民営）

ふくおか NPO センター（民設民営）

参加者：上原千加子

市民活動カフェは準備時から見学したが、どの団体も自分のイベントという意識が見られ活気があった。当センターでも目標としたい。また 3 つの施設を見学がセンターといっても多様な形態があり、スペース貸出しやコピーサービスが出来なくても事業は成立することがわかった。今ある環境を最大限に活用しようという意識や逆転の発想が大切だとわかった。



いわくに市民活動支援センター



市民活動カフェ オープニング



岩国市主催 市民活動カフェ 2013



市民活動カフェ 原爆の語り部ブース



福岡市 NPO・ボランティア交流センターあすみん



いわくに NPO センター

1-7. フォトギャラリー2012

4月 センター拠点整備



5月 糸満まち小へ移転オープン!



8月 市民提案型まちづくり事業交付団体と市長の懇談会



7月 市民提案型まちづくり事業 審査委員



センター内 資料を見ながら情報交換



1月 地域おこし協力隊着任



11月 糸満まちぐわー願寿祭



3月11日 東日本大震災同時刻に黙祷



3月 ボランティアセンター合同ミーティング



糸満市市民活動支援センター外観



第2章 収支概要

平成24年度 糸満市市民活動支援センター収支計算書				
(平成24年4月10日から平成25年3月31日まで)				
		金額	割合 (%)	内訳
	【経常収入】			
委託料金		6,384,000		
	経常収入 計	6,384,000	100%	
	【経常支出】			
人件費	給与	3,574,500		
	社会保険料等	419,559		
	人件費 計	3,994,059	63%	
事業費	報酬費	20,000		会計講座講師謝金
	印刷製本費	202,440		広報紙(増刷分含む)、パネル用出力分
	消耗品費	290,876		事務用品、拠点整備用品
	郵送費	78,314		広報紙、市民提案型まちづくり事業案内など
	旅費交通費	128,478		座談会着席者、スタッフ、県外研修
	リース・レンタル	93,240		ノートPC×3
	拠点設備費	88,341		木材ベンキなど資材
	新聞図書費	99,435		新聞×2、NPO関連書籍
	通信費	154,720		固定・携帯電話、プロバイダ料
	会議費	29,543		市民提案型審査会、講座、座談会茶菓子代
	研修費	13,800		県社協・糸社協研修費など
	福利厚生費	25,640		職員健康診断
	通り会費	1,200		100円×12か月
	光熱費	65,862		電気・水道
	雑費	4,722		振込手数料
	事業費 計	1,296,611	20%	
管理費		789,330	12%	
合計		6,080,000	95%	
消費税		304,000	5%	
	支出合計	6,384,000	100%	
	収支差額	0		

第3章 運営について

3-1. 事業推進体制

○市民活動支援センター事業部

センターを管理運営するためのスタッフを配置した。

ー常勤：宮道喜一、上原千加子、中島佐紀（週 24 時間）

○センター開館について

ー開館時間 10:00～19:00

ー閉館日 日・月曜日・国民の祝日・慰霊の日・12月29日から1月3日

ー臨時開館 中央市場または市場周辺で行われる行事の日

○ボランティアについて

市民活動/NPO に関連する新聞の切り抜き作業を行うなど、センターの運営に関わるボランティアの受け入れを行った。

3-2. 市合同月例ミーティング&スタッフミーティング

毎月第 4 火曜日の午後を市合同月例ミーティング、毎週木曜日の午前を定例のスタッフミーティングと位置づけ、センター事業に関わる職員が集まり、情報の共有と事業の確認及び利用者対応について話し合う場を持った。

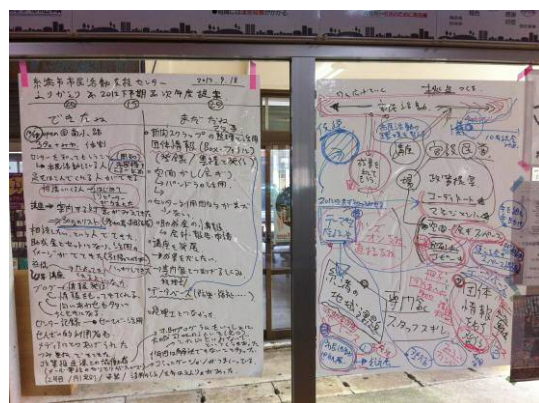
またスタッフミーティングにおいては、相談対応中の事例を挙げ、予測される内容も含めて、その都度、研修を行った。

ー市合同月例ミーティング 毎月第 4 火曜日の午後 計 11 回

ースタッフミーティング 毎週木曜日の午前 計 39 回



7月31日市合同月例ミーティング

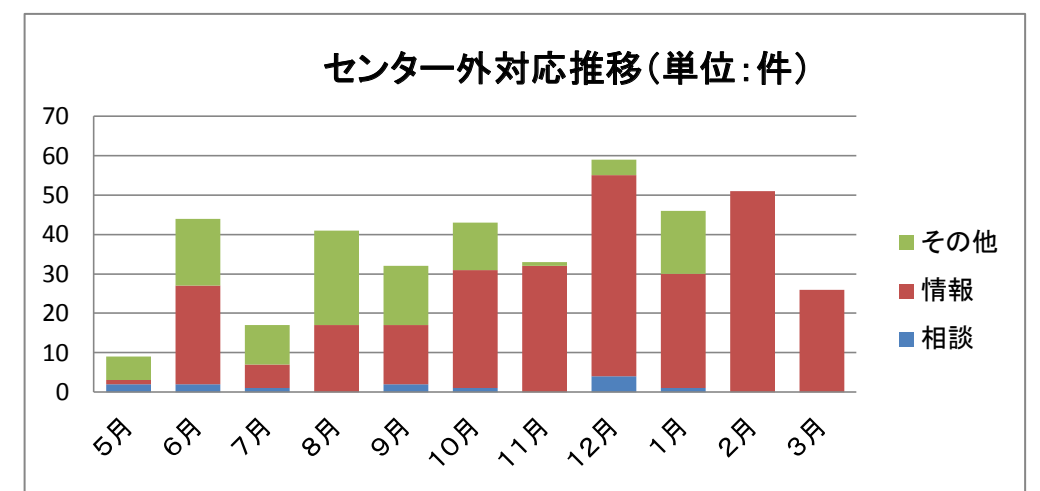
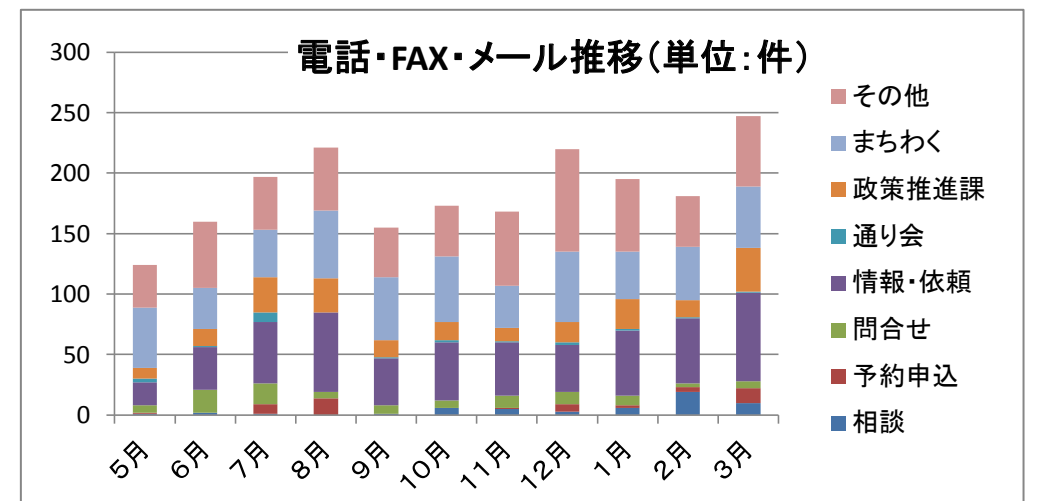
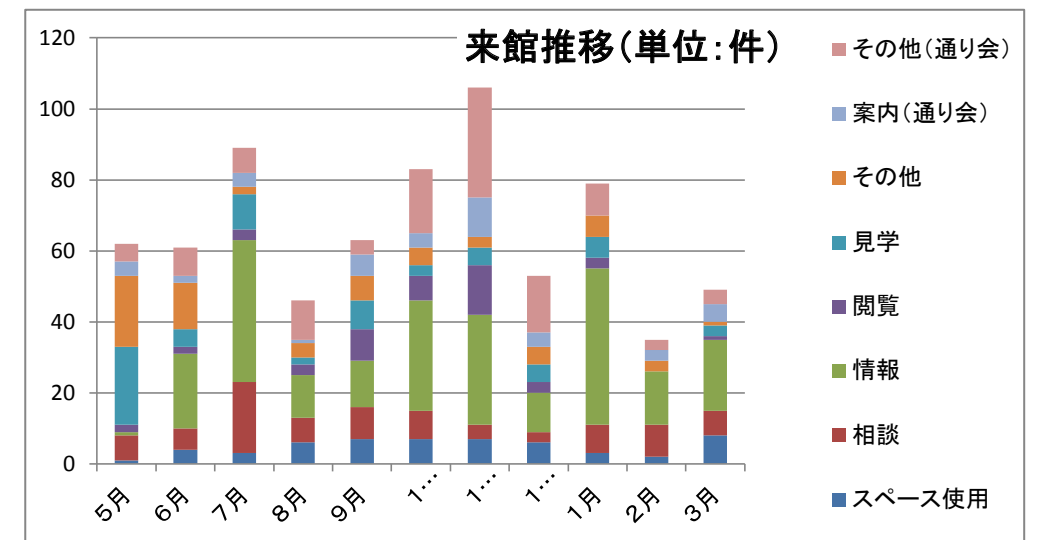


9月18日スタッフミーティング

平成24年度 糸満市市民活動支援センター事業スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
●契約4/10～												報告書提出	
□市とのやりとり		7・広報紙配布	設置要綱検討				20・広報紙配布		次年度予算検討	20・広報紙配布		20・広報紙配布	
□自治連絡員会議(5・20) 広報いとまん(15㍻切)		7・移転のお知らせ	6・市民提案型募集							5・パネル展募集	7・パネル展案内	5・団体情報シート配布	
(MT=最終火13:30)		29・MT	26・MT	31・MT	28・MT	27・MT	30・MT	27・MT	27・MT	27・MT	2/1MT	3/1MT	26・MT
●スタッフ													
(MT=毎木10時)(研修=相談会后)	MT・研修	MT・研修	MT・研修	MT・研修	MT・研修	MT・研修	MT・研修	MT・研修	MT・研修	MT・研修	MT・研修	MT・研修	
●会計													
□請求書・執行表		作成、提出、入金		作成、提出、入金			作成、提出、入金					事業費請求	
●拠点整備		改修→	10・移転オープン										
□i(いとまん)タウンページ作成									28・テーマ型座談会で作成決定	情報カードに記入	団体情報シート配布		
●相談会		随時相談対応										→	
(第1木13～16時)(研修=相談会后)	●&研修	●&研修	●&研修	●&研修	●&研修	●&研修	●&研修	●&研修	●&研修	●&研修	●&研修	●&研修	
●テーマ型座談会									5・防災レポート配布			20・防災レポート配布	
						テーマ企画	着席者選定	28・第1回開催		テーマ企画	着席者選定	11・第2回開催	
●つながりづくり推進協議会				18・総会									
●農村地域再生発見事業				米須交流事業		6・米須交流事業まとめ							
	募集		→								7～地域おこし協力隊着任		
●市民提案型まちづくり事業	交付要綱改正	募集要項見直し	募集	6・㍻切	15・説明会	5・市長との懇談				2・パネル展にて報告	28・報告書提出	決算支払	
□審査会				18・審査説明会	26・審査会							アンケート実施	
●市民活動講座					15・会計講座						11・県民生活課共催講座		
●市民活動の見える化・情報発信													
□広報紙		●Vol.4(移転オープン案内)			●Vol.5(交付団体特集①)			●Vol.6(交付団体特集②)				●Vol.7(年度のまとめ)	
□ブログ(開館日毎日更新)		随時取材・記事投稿										→	
●市民活動パネル展									プログラム作成・役割分担				
開催要項・後援依頼・出展者募集									募集	→	8・出展団体説明会		
後援団体・出展者管理									依頼・案内文発送		お礼文報告書発送		
会場											18・午前設置・午後団体		
●研修		31-6/1・内閣府		7・那覇公開審査会			20-22・県外視察				2-4・県外視察		
●通り会他、行事		22・ちむちむ	23・ハーレー	24・ちむちむ		23・ちむちむ・大綱引		25・ちむちむ		27・ちむちむ	10・旧正月	24・ちむちむ	
		31・通り会総会	18・商工観光課主催会議		31・まちぐわー活性化実行委員会立上げ			2-3・願寿祭			17・ボランティアのつ	14・社協合同MT	
●市			市議会		米須綱引	市議会	15・風景づくり市民会議	8-9・文化祭	20・市合同防災訓練	17・花づくり			
			10・市長選		19・こめす村丸ごと国際食フェスタ		17-18全国豊かな海	市議会		3・生涯学習フェスタ		市議会	

平成24年度 糸満市市民活動支援センター利用統計

管理業務総計(単位:件)		合計	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日数		228	17	22	22	23	20	21	22	20	20	19	22
総件数		3203	195	282	317	309	250	299	308	332	321	268	322
日平均		14.0	11.5	12.8	14.4	13.4	12.5	14.2	14.0	16.6	16.1	14.1	14.6
来館(単位:件)		合計	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日平均		761	62	78	103	47	63	83	107	53	80	36	49
来所	スペース使用	54	1	4	3	6	7	7	7	6	3	2	8
	相談	88	7	6	20	7	9	8	4	3	8	9	7
	情報	239	1	21	40	12	13	31	31	11	44	15	20
	閲覧	47	2	2	3	3	9	7	14	3	3	0	1
	見学	69	22	5	10	2	8	3	5	5	6	0	3
	ボランティア	0	0	17	14	1	0	0	1	0	1	1	0
	その他	69	20	13	2	4	7	5	3	5	6	3	1
通り会	案内	44	4	2	4	1	6	4	11	4	0	3	5
	その他	116	5	8	7	11	4	18	31	16	9	3	4
電話・FAX・メール・文書(単位:件)		合計	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日平均		2041	124	160	197	221	155	173	168	220	195	181	247
	相談	54	1	2	1	0	1	6	5	3	6	19	10
	予約申込	48	1	0	8	14	0	0	1	6	2	4	12
	問合せ	97	6	19	17	5	7	6	10	10	8	3	6
	情報・依頼	522	19	35	51	66	39	48	44	39	54	54	73
	通り会	21	3	1	8	0	1	2	1	2	1	1	1
	政策推進課	212	9	14	29	28	14	15	11	17	25	14	36
	まちわく	512	50	34	39	56	52	54	35	58	39	44	51
	その他	575	35	55	44	52	41	42	61	85	60	42	58
センター外対応(単位:件)		合計	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日平均		401	9	44	17	41	32	43	33	59	46	51	26
	相談	13	2	2	1	0	2	1	0	4	1	0	0
	情報	283	1	25	6	17	15	30	32	51	29	51	26
	その他	105	6	17	10	24	15	12	1	4	16	0	0

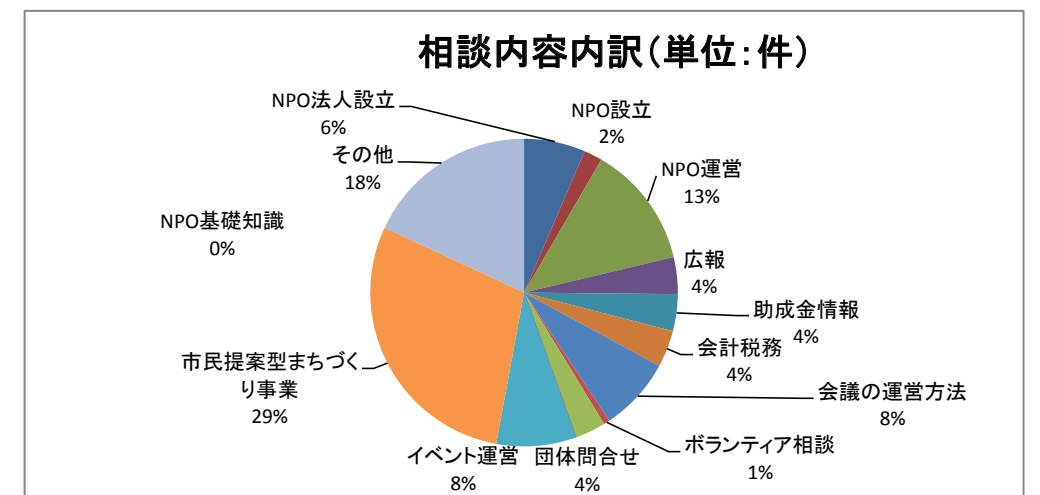


目的別相談総件数(単位:件) * 来所相談・電話等相談・センター外対応相談の総計

月	小計	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
NPO法人設立	10	1	0	0	2	0	0	0	0	0	7	0
NPO設立	3	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
NPO運営	20	2	3	3	0	2	3	0	0	5	2	0
広報	6	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	2
助成金情報	6	1	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0
会計税務	6	0	1	2	0	1	0	0	2	0	0	0
会議の運営方法	12	3	0	3	2	3	0	0	0	1	0	0
ボランティア相談	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
団体問合せ	5	0	0	0	0	0	2	2	0	0	1	0
NPO基礎知識	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イベント運営	13	0	0	0	0	3	5	2	2	1	0	0
市民提案型まちづくり事業	45	0	2	11	0	0	3	3	4	0	11	11
その他	28	3	3	2	2	0	1	0	1	5	7	4
合計	155	10	10	22	7	12	15	9	10	15	28	17

市民提案型まちづくり事業補助金関連対応 * 申請団体の相談・取材、政策推進課とのやり取り

月	H24年度	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来所	71	0	15	40	3	0	1	0	1	2	5	4
電話・FAX・メール・文書	253	12	30	54	41	5	13	15	8	14	19	42
センター外対応(配布・取材)	57	0	32	3	3	2	6	1	4	2	2	2
合計	381	12	77	97	47	7	20	16	13	18	26	48



目的別利用者数(単位:人) * 見学にはパネル展来場者、講座には講座・座談会の参加者を含む

月	小計	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
スペース使用	192	6	12	11	21	17	24	24	11	29	8	29
相談	92	8	7	20	9	9	9	4	2	8	9	7
情報	264	1	25	39	13	14	32	32	15	53	16	24
閲覧	49	2	2	3	3	11	5	15	2	4	0	2
見学	777	61	14	12	6	12	7	7	4	648	0	6
ボランティア	36	0	17	14	1	0	0	1	1	1	1	0
講座等	107	0	0	22	36	0	0	12	0	21	0	16
その他	69	15	13	2	4	9	8	3	5	7	2	1
合計	1586	93	90	123	93	72	85	98	40	771	36	85



糸満市市民活動支援センター事業

2012 年度事業報告書

2013 年（平成 25 年）3 月

発 行：糸満市市民活動支援センター

（管理・運営 特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく）

〒901-0361 糸満市字糸満 989 番地の 83 糸満市中央市場 C 棟 69

Tel & Fax : 098-992-5828

E-mail : itoman.saposen@gmail.com

Blog : <http://itomansaposen.ti-da.net/>